



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年 2月 7日

上場会社名 株式会社ヨシックス 上場取引所 東・名  
 コード番号 3221 URL http://www.yossix.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼CEO (氏名)吉岡 昌成  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部本部長 兼 経営企画室室長 (氏名)大崎 篤彦 (TEL) 052(932)8431  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,358	15.2	1,600	29.8	1,815	25.2	1,156	30.9
30年3月期第3四半期	11,591	22.9	1,233	40.5	1,450	35.9	883	32.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	112.13	111.76
30年3月期第3四半期	85.87	85.38

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	10,188	6,391	62.7	619.71
30年3月期	9,190	5,440	59.2	527.97

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 6,391百万円 30年3月期 5,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
31年3月期	—	10.00	—		
31年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	18.0	1,860	13.0	2,240	14.4	1,380	13.0	133.92

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	10,314,200株	30年3月期	10,304,200株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	261株	30年3月期	261株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	10,311,499株	30年3月期3Q	10,283,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融政策や政府による各種政策の継続による効果もあり、企業業績や雇用情勢は大きく改善が見られたものの、個人消費が依然低調に推移した結果、全体的に力強さを欠く状況となりました。

外食業界におきましては、原材料価格の高騰や人材需給の逼迫に伴う人件費の増加、更には消費者の節約志向の高まりや業界内の顧客獲得競争が激化の一途を辿っている等、経営環境は引続き厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当社の当第3四半期累計期間の売上高は、13,358百万円となりました。当社の主力業態は「や台や」業態、「や台ずし」業態、「ニパチ」業態及び「これや」業態であり、その中でも「や台ずし」業態を中心に新規出店に努めてまいりました。

「や台ずし」業態は新規出店23店舗、および業態転換2店舗を実施し、店舗数が203店舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の65.5%を占め、当業態の売上高は9,533百万円となりました。

均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は新規出店5店舗、業態転換1店舗および閉店撤退2店舗を実施し、店舗数が76店舗となり、総店舗数の24.5%を占め、当業態の売上高は2,871百万円となりました。

串カツ居酒屋である「これや」業態は他業態への業態転換3店舗を実施し、店舗数が17店舗となり、総店舗数の5.5%を占め、当業態の売上高は512百万円となりました。

また、更に多様化するお客様の嗜好やニーズにお応えするため、新業態の開発を進めていき、常に新たな収益の柱を確立するために、アンテナを張り巡らせ、情報の収集に取り組んでまいりました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店28店舗、業態転換4店舗を実施し、当第3四半期会計期間末の店舗数は310店舗（フランチャイズ含む）となりました。また、当第3四半期累計期間における売上高は13,358百万円（前年同期比15.2%増）、営業利益は1,600百万円（同29.8%増）、経常利益は1,815百万円（同25.2%増）となり、四半期純利益は1,156百万円（同30.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産負債の増減

当第3四半期会計期間末における総資産は10,188百万円、負債は3,796百万円、純資産は6,391百万円であり、自己資本比率は62.7%となりました。

### (流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ794百万円増加し、6,881百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。

### (固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ202百万円増加し、3,306百万円となりました。これは主に建物が86百万円及び建物付属設備が96百万円増加したことによるものであります。

### (流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ80百万円増加し、3,099百万円となりました。これは主に買掛金が増加したことによるものであります。

### (固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ34百万円減少し、696百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

### (純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ951百万円増加し、6,391百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、概ね計画通りに堅調に推移いたしましたので、平成30年5月9日に公表いたしました通期業績予想につきまして、現時点での変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,605,442	6,389,337
売掛金	149,991	159,357
完成工事未収入金	1,108	5,470
たな卸資産	137,125	176,236
その他	193,671	151,577
流動資産合計	6,087,339	6,881,979
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,797,024	1,979,636
その他	533,240	521,326
有形固定資産合計	2,330,264	2,500,963
無形固定資産	6,034	5,428
投資その他の資産	767,081	799,695
固定資産合計	3,103,380	3,306,087
資産合計	9,190,719	10,188,067
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	966,204	1,181,730
1年内返済予定の長期借入金	92,553	64,186
未払金	733,953	806,377
未払法人税等	504,551	392,289
その他	721,605	655,033
流動負債合計	3,018,867	3,099,617
固定負債		
長期借入金	106,227	63,330
役員退職慰労引当金	351,837	369,591
その他	273,536	263,794
固定負債合計	731,600	696,715
負債合計	3,750,468	3,796,332
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	334,279	335,229
資本剰余金	362,384	363,334
利益剰余金	4,742,445	5,692,589
自己株式	△515	△515
株主資本合計	5,438,592	6,390,636
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,658	1,098
評価・換算差額等合計	1,658	1,098
純資産合計	5,440,251	6,391,735
負債純資産合計	9,190,719	10,188,067

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	11,591,631	13,358,046
売上原価	3,724,323	4,265,294
売上総利益	7,867,308	9,092,751
販売費及び一般管理費	6,634,068	7,492,243
営業利益	1,233,239	1,600,508
営業外収益		
協賛金収入	208,582	205,093
その他	8,796	9,714
営業外収益合計	217,379	214,808
営業外費用		
支払利息	176	78
その他	390	234
営業外費用合計	566	312
経常利益	1,450,052	1,815,004
特別利益		
固定資産売却益	1,999	1,999
受取補償金	—	54,752
特別利益合計	1,999	56,752
特別損失		
固定資産除却損	840	3,423
減損損失	—	4,915
特別損失合計	840	8,339
税引前四半期純利益	1,451,211	1,863,417
法人税、住民税及び事業税	576,809	703,888
法人税等調整額	△8,683	3,226
法人税等合計	568,125	707,115
四半期純利益	883,085	1,156,302

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。